

ハルバ嶺における事業について



平成30年2月8日(木)
第18回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

1. 2017年度のハルバ嶺事業
2. 2018年度のハルバ嶺事業予定
3. 追加廃棄処理設備等の状況

- 4月から11月までの約8か月間にわたり、試験廃棄処理と発掘・回収を実施。

1. 試験廃棄処理事業

- ・ 4月20日から11月9日まで廃棄処理を実施。8月下旬までは主に1号埋設坑から2016年に発掘・回収した砲弾を、8月下旬以降は1号埋設坑から2017年に発掘・回収した砲弾を廃棄処理。
- ・ 本年度の廃棄処理数は3,983発(加熱:2,659発、制御:1,324発)。

2. 発掘・回収事業

- ・ X線鑑定装置(2号機)設置。本年度からX線鑑定装置2機を同時運用。
- ・ 6月21日から7月19日まで1号埋設坑からの発掘・回収作業を実施。
- ・ 8月21日から9月20日まで1号埋設坑とともに、2号埋設坑からの発掘作業を初めて実施。
- ・ 本年度のハルバ嶺埋設坑からの発掘・回収数は5,135発。

2017年度ハルバ嶺試験廃棄処理事業の状況

- ・ 加熱爆破処理 2, 659発
- ・ 制御爆破処理 1, 324発 合計 **3, 983発** の化学砲弾の廃棄処理を実施

区 分		加熱爆破	制御爆破	合計	
化学砲弾	きい弾	75mm	540	0	540
		90mm	629	0	629
		105mm	36	0	36
		150mm	6	0	6
	あか弾	75mm	0	188	188
		90mm	1292	1134	2426
		105mm	5	0	5
		150mm	0	2	2
	あおしろ弾	75mm	0	0	0
	化学砲弾	75mm	0	0	0
		105mm	0	0	0
		150mm	0	0	0
	化学砲弾 弾殻	75mm	0	0	0
		90mm	0	0	0
105mm		0	0	0	
150mm		0	0	0	
有毒発煙筒	あか筒	小	151	0	151
	みどり筒		0	0	0
化学兵器構成品	伝火薬筒		0	0	0
	炸薬筒	75mm	0	0	0
		90mm	0	0	0
		105mm	0	0	0
		150mm	0	0	0
化学爆弾		0	0	0	
化学兵器合計		2,659	1,324	3,983	

試験廃棄処理の実績

年 度	加熱爆破	制御爆破	合 計
2014年度	20	36	56
2015年度	551	387	938
2016年度	4,974	1,144	6,118
2017年度	2,659	1,324	3,983
累 計	8,204	2,891	11,095

* 処理期間

- ・2014年度：12/ 1～12/ 4
- ・2015年度： 4/27～ 7/30

- ・2016年度： 4/22～11/30
- ・2017年度： 4/20～11/ 9

2017年度ハルバ嶺発掘・回収事業の状況

- ・ 6月から9月まで発掘・回収作業を実施し、ハルバ嶺埋設坑から5,135発を回収。644発を通常弾と確認し、中国側に引き渡した。

【1号埋設坑】

2017.9.26



【2号埋設坑】

2017.9.26



【2017年度 砲弾数】

区 分			砲弾数
化学砲弾	きい弾	75mm	487
		90mm	747
		105mm	38
		150mm	4
	あか弾	75mm	49
		90mm	3,800
		105mm	4
		150mm	2
	あおしろ弾	75mm	3
	不明弾	150mm	1
回収砲弾			5,135
通常弾			644

発掘・回収の実績

	発掘砲弾数	回収砲弾数
● 2015年度以前の累計	2,203発	979発
● 2016年度 (計3期：4月～9月)	3,519発	2,796発
● 2017年度 (計2期：6月～9月)	5,779発	5,135発
累 計	11,501発	8,910発

- 2018年度も廃棄処理と発掘・回収を実施予定。

1. 廃棄処理事業

- ・ 2018年度から、試験廃棄処理から廃棄処理に移行予定。
- ・ 6月13日から11月29日まで廃棄処理を実施予定。
(第1期:6月13日から7月25日、第2期:8月6日から9月21日、
第3期:10月15日から11月29日の予定)

2. 発掘・回収事業

- ・ 8月6日から11月29日まで1号埋設坑からの発掘・回収を実施予定。
(第1期:8月6日から9月20日、第2期:10月15日から11月29日の予定)

※ 事業開始前の期間を利用して、事業実施時には対応が困難な各種施設・設備の老朽箇所改修・更新(例:壁・床等の再塗装、照明器具のLED化)、設備・機器類のメンテナンス(例:換気フィルタユニットの点検)、さらに厳冬期での作業実施に備えた防寒対策等を実施予定。

ハルバ嶺事業今後の予定（2018年度）

2018年度	1／四	2／四	3／四	4／四
発掘・回収事業	施設修繕及び一時土砂置場建設	発掘・回収作業		維持管理
廃棄処理事業	施設修繕	廃棄処理作業		維持管理
追加廃棄処理設備及び危険廃棄物処理設備建屋の調達等	設計・製作			

<新規設備導入の必要性>

① 追加廃棄処理設備

ハルバ嶺の遺棄化学兵器の廃棄は、平成34(2022)年中の廃棄完了(推定埋設弾数約30万発から40万発)を目指して、最善の努力を払うこととされているところ。

廃棄処理設備は、上記の目標に向けて、既に設置されている廃棄処理設備(加熱爆破設備及び制御爆破設備)に加えて、新たに制御爆破設備を追加することにより、大量の遺棄化学兵器の廃棄処理を加速するため導入する。

② 危険廃棄物処理設備

試験廃棄処理設備(加熱爆破設備及び制御爆破設備)及び新たに設置される廃棄設備並びに発掘・回収現場から発生する危険廃棄物及び一般廃棄物を処理するため、危険廃棄物処理設備を導入する。

- ※ 危険廃棄物とは、化学兵器廃棄設備及び発掘・回収現場から排出される
- ※ 微量の化学剤と砒素又は砒素を含む固体、液体及び金属類を言う。

＜新規設備導入の進捗状況＞

① 追加廃棄処理設備

- ・平成28年11月に株式会社神戸製鋼所と契約
- ・平成29年10月に爆破チャンバー等の設計を概ね完了
- ・平成29年11月から爆破チャンバー(4基のうち1基)の製作を開始
- ・平成30年1月に先行し製作した爆破チャンバーの爆破試験を実施
- ・爆破試験の結果を確認し、残り3基の爆破チャンバー等の製作を開始し平成31年3月までに製作完了予定

② 危険廃棄物処理設備

- ・平成29年2月に株式会社神戸製鋼所と契約
- ・平成29年12月に台車炉等の設計を概ね完了
- ・平成30年1月から台車炉等の製作を開始
- ・平成31年3月までに製作完了予定

ハルバ嶺インフラの整備状況

